

2. 観光誘客業務「ターゲットごとに有効な誘客施策」(PR動画制作)

(1)「ターゲットごとに有効な誘客施策」(PR動画制作)

【撮影スケジュール】 2021年2月6日(土)～7日(日)

■1日目
2/6(土)

時間	項目	備考
7:30		
8:00	とまりんロビー集合	
8:30	フェリー乗船風景撮影(30min)→乗船	
9:00	(一般客乗船)	
10:00	フェリー出航	
10:30		
11:00	船上撮影(10min～20min)	
11:30	フェリー到着&レンタカー乗車撮影(60min)	くじらレンタカー
12:00		
12:30	ランチ風景(1)撮影(30min)	ハーフタイム
13:00	(阿波連港へ移動)	
13:30	レンタカー配車手続き風景撮影(30min)	
14:00		
14:30	昼アクティビティ(1)撮影(120min)	シーカヤック無人島ツアー (アイランズトリップ)
15:00		
15:30		
16:00	(とかしくビーチへ移動)	
16:30	ビーチ散策撮影(30min)	とかしくビーチ
17:00		
17:30		
18:00	しおのかチェックイン&BBQ(120min)	しおのか
18:30		
19:00		
19:30	撮影終了	

■2日目
2/7(日)

時間	項目	備考
6:30	日の出風景撮影(30min)	カメラマンチームのみ活動
7:00	(しおのかチェックアウト→阿波連ビーチに移動)	
7:30		
8:00	朝ヨガ(60min)	Adi Yoga
8:30	(マリンパレスへ移動)	
9:00	朝食(60min)	ペンション マリンパレス
9:30		
10:00	(阿波連港へ移動)	
10:30		
11:00	ホエールウォッチング(120min)	月の翼
11:30		
12:00		
12:30	(阿波連港から移動)	
13:00		
13:30	ランチ風景(2)撮影(60min)	cafe島むん+
14:00	クバンダキ展望台撮影(30min)	
14:30	(フェリーターミナルに移動)	
15:00	レンタカー返車	
15:30	おみやげ購入撮影(30min)	ターミナル内島むん
16:00	マリンライナー乗船撮影(30min)	
16:30	(一般客乗船)	
17:00	マリンライナー出航	
17:30	とまりん到着&解散シーン撮影(30min)	
18:00	解散	

2. 観光誘客業務「ターゲットごとに有効な誘客施策」(PR動画制作)

(1)「ターゲットごとに有効な誘客施策」(PR動画制作)

【絵コンテ】2021年2月6日(土)

No.	撮影時間	撮影場所	撮影内容	イメージ	MEMO
1	8:30~9:00	とまりん停泊中フェリー前	<ul style="list-style-type: none"> ・3人持ち合わせ ・チケットもぎり ・乗船 ・産直着席 		
2	10:30~11:00	フェリー甲板	<ul style="list-style-type: none"> ・風景を自身のスマホで撮影 ・GO PROを使った自撮り ・談笑 		
3	11:30~12:00	フェリーターミナル くじらレンタカー	<ul style="list-style-type: none"> ・下船 ・くじらレンタカーに移動 ・乗車(配車シーンは別途) 		
4	12:30~13:00	ハーフタイム	ランチ		
5	13:30~13:45	くじらレンタカー阿波港	レンタカー配車手続き		
6	14:00~16:00	アイランドトリップ	<ul style="list-style-type: none"> ・着替え ・乗船前レクチャー ・乗船 ・その他 		
7	16:30~16:45	とかしくビーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーチ散策 ・自撮り ・その他 		
8	17:00~17:30	しおのか	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックイン ・室内散策 (ベッドルーム、バスルーム等) 		
9	17:30~18:15	しおのかベランダ	<ul style="list-style-type: none"> ・BBQ ・サンセット風景 ・その他 		

2. 観光誘客業務「ターゲットごとに有効な誘客施策」(PR動画制作)

(1)「ターゲットごとに有効な誘客施策」(PR動画制作)

【絵コンテ】2021年2月7日(日)

No.	撮影時間	撮影場所	撮影内容	イメージ	MEMO
1	6:30~7:00	阿波瀬ビーチ	サンライズ		
2	7:30~8:30	阿波瀬ビーチ	朝ヨガ		
3	9:00~9:45	ペンションマリンバレス	朝食		
4	10:00~12:00	阿波速徳	ホエールウォッチング		
5	12:30~13:30	cafe島むん+	ランチ		
6	14:00~14:30	クバンダキ展望台	写真撮影		
7	15:30~15:45	フェリーターミナル	おみやげ購入		
8	16:00~16:30	マリンライナー乗り場	・乗船 ・返航着岸		
9	17:35~18:00	とまりん	解散		

2. 観光誘客業務「ターゲットごとに有効な誘客施策」(PR動画制作)

(1)「ターゲットごとに有効な誘客施策」(PR動画制作)

【動画内容(一文抜粋)】



2. 観光誘客業務「ターゲットごとに有効な誘客施策」(PR動画制作)

(1)「ターゲットごとに有効な誘客施策」(PR動画制作)

【動画内容(一文抜粋)】



2. 観光誘客業務 「イベント出展等のサポート体制・サポート内容」

(2) 「イベント出展等のサポート体制・サポート内容」

【イベント開催状況一覧】

開催予定日程	イベント名	開催状況	渡嘉敷村の出展
2020年 7月	マリンダイビングフェア (東京)	8月に延期⇒イベント中止	新型コロナウイルスによるイベント中止のため、出展なし。
10月	横浜チャンプルーカーニバル (神奈川)	10月31日 (土) 開催	ツーリズムEXPOジャパンと日程が重なっているため、出展取止め。
10月	ツーリズムEXPOジャパン2020 (沖縄)	10月29日 (木) ~11月1日 (日) 開催	渡嘉敷村ブースを出展。パンフレット、ノベルティ等を配布。
11月	北海道旅行博 (北海道)	11月	新型コロナウイルスによるイベント中止のため、出展なし。
11月	アイランダー (東京)	11月20 (金) ~29日 (日) オンライン開催	出展取止め。
11月	離島フェア (沖縄)	2021年1月22日 (金) ~2月18日 (木) オンライン開催	オンラインにて出展。
2021年 2月	福岡トラベラーフェス (福岡)	2021年2月13日 (土) ~14日 (日) 開催	新型コロナウイルスの影響により、出展取止め。

① 10月 ツーリズムEXPOジャパン2020 (沖縄)



ツーリズムEXPOジャパン2020



130の国と地域、47都道府県が参加
50,000人超の観光事業者、140,000人超の一般客が来場。

- 【イベント概要】
- 開催地：沖縄県
 - 会場：沖縄コンベンションセンター ほか
 - 来場者数：24,174人
 - 開催時期：2020年10月29日～11月1日
 - 実施内容：ブースでのPR活動（パンフレット、ノベルティ配布等）

【来場者数】 **合計 24,174人** 【出展者数】世界**30**カ国・地域／国内**28**道府県／**285**企業・団体

10月29日 (木) / 商談・業界日 **2,197**人 10月31日 (土) / 一般日 **9,094**人

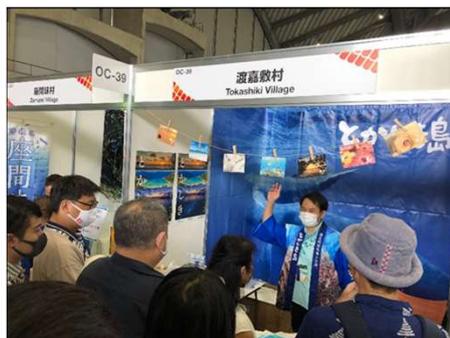
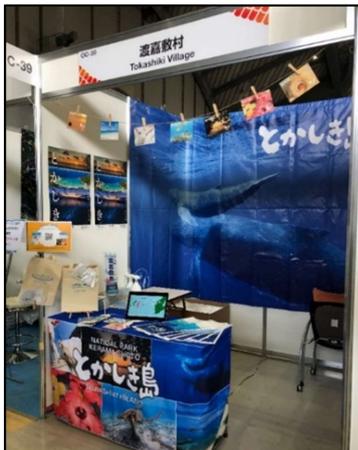
10月30日 (金) / 商談・業界日 **2,438**人 11月 1日 (日) / 一般日 **10,445**人

※来場者数には同時開催イベント (ResorTech Okinawa、島ぜんぶでお〜きな映画上映会、タチ子の島々) を含みます。

【配布したノベルティ】

- ①とかしき島MAP (日本語) 1,000部 ②とかしき島MAP (英語・19年度制作分) 50部
④ポストカード (19年度制作分) 2,000部 ⑤PP袋 (19年度制作分) 1,000部
⑥PRうちわ (19年度制作分) 800部 ⑦マスク 400部 ⑧トートバッグ 400部

【イベント当日、ブースの様子】



2. 観光誘客業務 「観光PRツールの制作及び活用方法」

(3) 「観光PRツールの制作及び活用方法」

【観光誘客業務制作物一覧】

	制作物 (仕様内容)	制作予定数 (仕様内容)	制作部数
渡嘉敷村観光誘客業務	1 とかしきMAP (日本語)	二つ折り + 蛇腹折り 30,000部 第1回：10,000部制作納品 第2回：10,000部制作納品 第3回：10,000部制作納品	二つ折り + 蛇腹折り 15,000部で制作完了
	2 とかしきMAP (多言語)	5,000部	英語版5,000部で制作完了
	3 PP袋	7,000枚	PP袋、代替のファイルdeバッグとも制作見送り
	4 PRうちわ	4,000枚	制作見送り
	5 ポストカード	50,000枚	25,000部で制作完了
	6 とかしきマラソン用PR袋 (紐付き)	900枚	女子旅折込チラシ500部へ制作変更
	7 村PR用ノベルティ (マスク、トートバッグ)	1,000部	2,000部で制作完了 ※マスク2種1,000部 ※トートバッグ2種1,000部
	8 A2ポスター	80枚	9種84枚で制作完了 第1回：1種20枚 (A2：19枚、A0：1枚) 制作納品 ※ツーリズムEXPOジャパン時 第2回：8種64部制作納品
	9 A4クリアファイル	500枚	A4クリアファイル、代替のファイルdeバッグとも制作見送り
	10 女子旅折込チラシ	10月1日付新規で制作決定	両面1枚500部

2. 観光誘客業務 「観光PRツールの制作及び活用方法」

① とかしき島MAP（日本語）

【仕様】
 印刷：4/4c
 サイズ：仕上り 縦210×横100mm／展開A2サイズ
 素材：コート紙(73)
 加工：折り加工

■ 折った状態での表紙



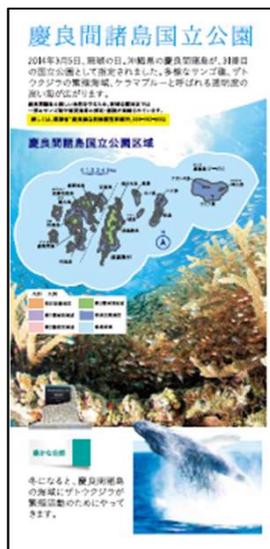
■ 折った状態での裏面



■ 中面1



■ 中面2



■ 中面3



2. 観光誘客業務 「観光PRツールの制作及び活用方法」

① とかしき島MAP（日本語）

■ 集落MAP

■ とかしき島全体MAP



■ 展開時のデザイン（集落MAP、表紙・裏面含む他ページ）

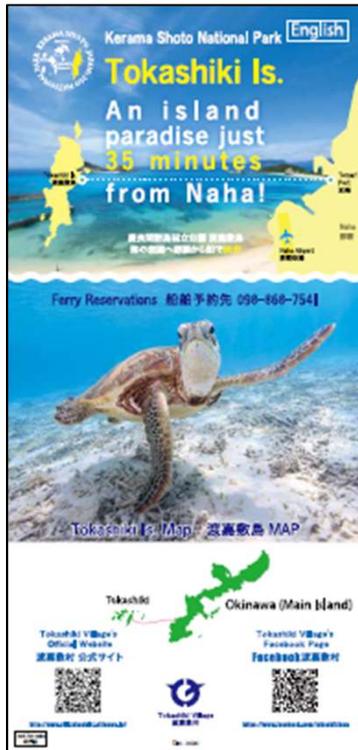


2. 観光誘客業務 「観光PRツールの制作及び活用方法」

② とかしき島MAP (多言語)

【仕様】
 印刷：4/4c
 サイズ：仕上り 縦210×横100mm／展開A2サイズ
 素材：コート紙(73)
 加工：折り加工

■ 折った状態での表紙



■ 折った状態での裏面



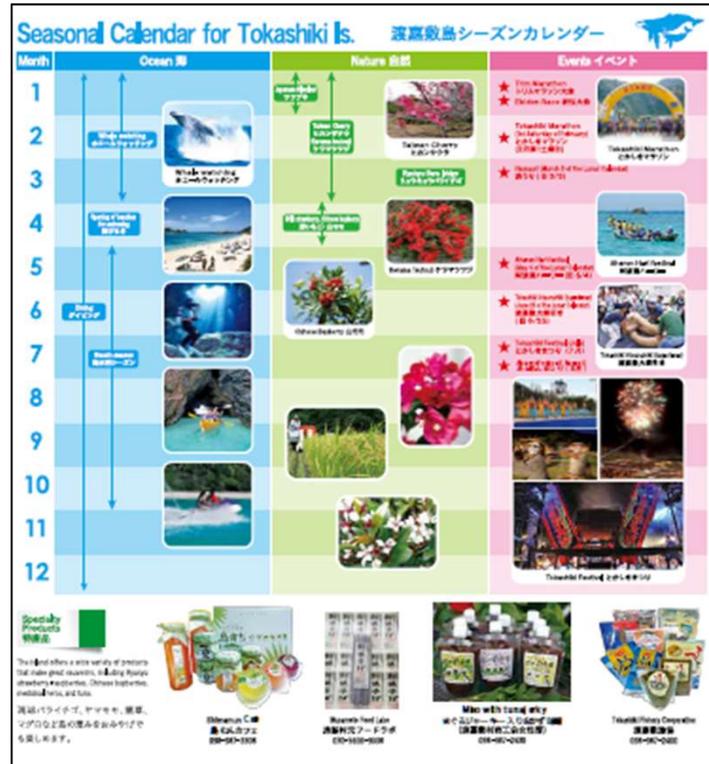
■ 中面1



■ 中面2



■ 中面3



2. 観光誘客業務 「観光PRツールの制作及び活用方法」

② とかしき島MAP (多言語)

■ 集落MAP



■ とかしき島全体MAP



■ 展開時のデザイン (集落MAP、表紙・裏面含む他ページ)



2. 観光誘客業務 「観光PRツールの制作及び活用方法」

③ポストカード

【仕様】

印刷：4/0c

サイズ：A6

加工：アートポスト（240）

加工：断裁



2. 観光誘客業務 「観光PRツールの制作及び活用方法」

④村PR用ノベルティ（マスク、トートバック）



【仕様】
印刷：4/0c
サイズ：（M）w175×135mm
素材：冷感・吸水速乾タイプ
加工：センター縫い合わせ、ロゴプリント



【仕様】
印刷：2/0c 片面転写印刷
サイズ：260×330mm
素材：ライトキャンパスバッグ（M）ナチュラル色
加工：ロゴ入れ

⑤A2ポスター

1回目：9月制作ポスター

【仕様】
印刷：4/0c
サイズ：A2
加工：コート紙（135）
加工：断裁



2. 観光誘客業務 「観光PRツールの制作及び活用方法」

⑤A2ポスター

2回目：1月制作ポスター



2. 観光誘客業務 「観光PRツールの制作及び活用方法」

⑥女子旅折込チラシ

【仕様】
印刷：4/4c
サイズ：縦303×横205mm
加工：マット紙（110kg）
加工：断裁

Retreat TOKASHIKI
渡嘉敷島の自然で心と体をゆるめる女子旅へ

あれこれ考えるのは好きだけど、ここではナチュラルでいたい。そう思えるのは、この島の美しい自然や森林で温かい人々が心と体をゆるめてくれるから。渡嘉敷島は私の心に入りのアイランド♡

Water Kids
ウォーターキッズ
ダイビング初心者のダイビングと体験の両方を楽しめるダイビングプログラム。体験タイプからインストラクター養成コースまで幅広いメニューをご用意。美しい海を堪能しよう。

★ けらま貸別荘 しおのか
ほろろしおのせう しよのか
渡嘉敷島を一望する、101坪の貸別荘。大きな窓のリビングダイニングルームから中国庭園を眺め、キッチン・浴室、高級フルコースも楽しめる。7名様専用別荘1軒付。

★ アイランドマリンサービス (IMS)
アイランド マリン サービス
ウェイクボード、無人島上陸、バナナボートなど様々なマリンスポーツが楽しめる。また、1年中運行可能な水中散歩船は、気軽にシュノーケリングが楽しめる。

Retreat TOKASHIKI
渡嘉敷島の自然で心と体をゆるめる女子旅へ

Adi Yoga
アディ ヨガ
渡嘉敷島の美しいビーチや青々としたの緑の中で、心身ともにリフレッシュできるヨガコース。初心者から上級までレベルアップのヨガプログラムをご用意。ヨガインストラクターの指導のもと、心地よいヨガ体験ができます。

島むん (特産品販売所)
シメタ
渡嘉敷島の食材にこだわった自家製のジャムやゼリー。パッケージ、ギフトにも最適な商品。全種類、お取り寄せも承ります。

感染対策バッチリ! で
もっと安心・もっと楽しい渡嘉敷島の旅を。
安心安全で、楽しい渡嘉敷島の旅は、来島される皆様、そして渡嘉敷村の人々も同じ思い。「新しい旅のエチケット」とともに、渡嘉敷島を満喫してくださいね。

- 出発前に渡嘉敷島の状況確認をいしましょう。
- 船やバスなどの移動中は、おしゃべりを控えましょう。
- 旅行中はマスクを着用し、手洗い・消毒を徹底しましょう。
- 飲食店でも、食事をするとき以外はマスクを着用しましょう。
- お買い物は、あれこれ用品を触らず、目で選びましょう。
- 列に並ぶ時は、間隔を空けましょう。

2. 観光誘客業務 「渡嘉敷村既存の観光関連コンテンツ（デジタルコンテンツ）の活用方法」

(4) 「渡嘉敷村既存の観光関連コンテンツ（デジタルコンテンツ）の活用方法」

【実施予定であった内容・協議事項】

- ・渡嘉敷村既存の観光関連コンテンツ（デジタルコンテンツ）同士双方向での情報公開等の連携。
- ・渡嘉敷観光ポータルサイト（Webサイト）においては管理者の利便性向上を図る。
- ・とかしきナビ（アプリ）もポータルサイトと連携して情報更新促進を図る。

【対象コンテンツ】

- ・とかしき島体操（動画）
- ・渡嘉敷村公式チャンネル（YouTube）
- ・渡嘉敷村公式ページ（Facebook）
- ・とかしきナビ（アプリ）
- ・渡嘉敷観光ポータルサイト（Webサイト）

【実施見送りの事由】

今年度は活用までのスキームは検討せず、現状を整理・把握する業務に変更した。

渡嘉敷観光ポータルサイト（Webサイト）やとかしきナビ（アプリ）等、村役場内の業務内容（構築内容、保守点検等）を確認整理する段階で、リニューアルとその後の活用は時間を要するため、次年度以降のアクションに切り替えることを判断した。

また、今年度の3月には渡嘉敷村観光協会のホームページが立ち上がる予定となっており、ホームページの内容及び協会での運営管理、デジタルコンテンツについての新規制作や既存コンテンツの活用方法等、実際の動きを見ながら様々な業務のメインプレイヤーとなる当協会との連携を図ることが効果的且つ効率的と判断するに至った。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 渡嘉敷村観光振興計画進行管理調査

① 渡嘉敷村観光振興計画進行管理調査

■ 検証方法

観光振興基本計画「3章 渡嘉敷村観光振興計画」の「3-3基本施策と取組みの体系」の実施主体に従って、評価者を選定。進捗管理状況を5段階で評価し、具体的な取組内容を調査。

■ 進捗管理状況の5段階評価基準

- A：達成
- B：ほぼ達成
- C：半分程度達成
- D：わずかに達成
- E：変化なし

■ ヒアリング対象者 ※50音順

- 渡嘉敷村 民生課：新垣 聡 課長
- 渡嘉敷村 船舶課：我喜屋 元作 課長
- 渡嘉敷村 総務課：金城 満 課長
- 渡嘉敷村 観光産業課：玉城 広喜 課長

■ ヒアリング実施期間

2021年2月中旬～2021年3月上旬

■ ヒアリングシート（抜粋）

総合調査計画表 村	基本方針 <ビジョン> a 方針の 分類	基本施策	基本施策の内容説明	具体的な取組内容	取組内容説明文	担当者 上位計画 内記載	事業責任者	スケジュール			主幹課	連携協力 関係団体 事業主体 村民	引用資料 記載理由	H30年 進捗状況 (H31年2月ヒアリング)	R2年 進捗状況 (R3年2月ヒアリング)	計画の進捗状況 (プルダウンから お選びください)		
								短期	中期	長期								
住むひと、 訪れるひと、 幸せを 実感できる 島鳥 渡嘉敷村	心ふるえる 夢島 とかしき ～この 島を100年 先へ つなぐ～	1-1 環境保全の推進	渡嘉敷村の自然環境を保全し、 観光客が安心して滞在できるように 環境整備を進めます。	① 環境状況調査と環境保全実施計画	環境状況調査については、自治体関係部署や 関係機関との連携をとりながら、環境 保全の観点から調査を実施します。また、 調査結果に基づいて、環境保全の取組 計画を策定し、関係機関との連携を 図ります。	民生課					● 民生課		民生課が環境保全の取組については、自治体 関係機関との連携をとりながら、環境 保全の観点から調査を実施します。また、 調査結果に基づいて、環境保全の取組 計画を策定し、関係機関との連携を 図ります。		A			
				② 環境保全の推進	環境保全の推進については、環境保全の 取組を実施し、関係機関との連携を 図ります。	民生課				● 民生課		環境保全の取組については、環境保全の 取組を実施し、関係機関との連携を 図ります。		A				
				③ 環境状況調査と環境保全実施計画	環境状況調査については、自治体関係部署や 関係機関との連携をとりながら、環境 保全の観点から調査を実施します。また、 調査結果に基づいて、環境保全の取組 計画を策定し、関係機関との連携を 図ります。	民生課				● 民生課		環境状況調査については、自治体関係部署や 関係機関との連携をとりながら、環境 保全の観点から調査を実施します。また、 調査結果に基づいて、環境保全の取組 計画を策定し、関係機関との連携を 図ります。		A				
				④ 環境保全の推進	環境保全の推進については、環境保全の 取組を実施し、関係機関との連携を 図ります。	民生課				● 民生課		環境保全の取組については、環境保全の 取組を実施し、関係機関との連携を 図ります。		A				
	自然環境 保全 活用	1-2 エコツアーの推進	渡嘉敷村全体で、自然環境を 保全し、観光客が安心して滞在できるように 環境整備を進めます。	① 自然環境を保全するための取組	自然環境を保全するための取組については、 関係機関との連携をとりながら、環境 保全の観点から調査を実施します。また、 調査結果に基づいて、環境保全の取組 計画を策定し、関係機関との連携を 図ります。	民生課						● 民生課		自然環境を保全するための取組については、 関係機関との連携をとりながら、環境 保全の観点から調査を実施します。また、 調査結果に基づいて、環境保全の取組 計画を策定し、関係機関との連携を 図ります。		A		
				② 自然環境を保全するための取組	自然環境を保全するための取組については、 関係機関との連携をとりながら、環境 保全の観点から調査を実施します。また、 調査結果に基づいて、環境保全の取組 計画を策定し、関係機関との連携を 図ります。	民生課							● 民生課		自然環境を保全するための取組については、 関係機関との連携をとりながら、環境 保全の観点から調査を実施します。また、 調査結果に基づいて、環境保全の取組 計画を策定し、関係機関との連携を 図ります。		A	
				③ 自然環境を保全するための取組	自然環境を保全するための取組については、 関係機関との連携をとりながら、環境 保全の観点から調査を実施します。また、 調査結果に基づいて、環境保全の取組 計画を策定し、関係機関との連携を 図ります。	民生課								● 民生課		自然環境を保全するための取組については、 関係機関との連携をとりながら、環境 保全の観点から調査を実施します。また、 調査結果に基づいて、環境保全の取組 計画を策定し、関係機関との連携を 図ります。		A
				④ 自然環境を保全するための取組	自然環境を保全するための取組については、 関係機関との連携をとりながら、環境 保全の観点から調査を実施します。また、 調査結果に基づいて、環境保全の取組 計画を策定し、関係機関との連携を 図ります。	民生課								● 民生課		自然環境を保全するための取組については、 関係機関との連携をとりながら、環境 保全の観点から調査を実施します。また、 調査結果に基づいて、環境保全の取組 計画を策定し、関係機関との連携を 図ります。		A
	環境美化の推進	1-3 環境美化の推進	渡嘉敷村は、国立公園として、日本の 観光地を代表し、世界に知られる 観光地として、観光客が安心して滞在できるように 環境整備を進めます。	① 環境美化の推進	環境美化の推進については、環境美化の 取組を実施し、関係機関との連携を 図ります。	民生課						● 民生課		環境美化の推進については、環境美化の 取組を実施し、関係機関との連携を 図ります。		A		
				② 環境美化の推進	環境美化の推進については、環境美化の 取組を実施し、関係機関との連携を 図ります。	民生課							● 民生課		環境美化の推進については、環境美化の 取組を実施し、関係機関との連携を 図ります。		A	
				③ 環境美化の推進	環境美化の推進については、環境美化の 取組を実施し、関係機関との連携を 図ります。	民生課							● 民生課		環境美化の推進については、環境美化の 取組を実施し、関係機関との連携を 図ります。		A	
				④ 環境美化の推進	環境美化の推進については、環境美化の 取組を実施し、関係機関との連携を 図ります。	民生課							● 民生課		環境美化の推進については、環境美化の 取組を実施し、関係機関との連携を 図ります。		A	
外來種への対策	1-4 外來種への対策	渡嘉敷村在来の様々な動植物を守 るために、村内の環境をきれいに し、外來種対策に向けた対策を 進めます。	① 外來種への対策	外來種への対策については、外來種の 侵入を防ぐための取組を実施し、 関係機関との連携をとりながら、 環境保全の観点から調査を実施 します。また、調査結果に基づいて、 環境保全の取組計画を策定し、 関係機関との連携を図ります。	民生課						● 民生課		外來種への対策については、外來種の 侵入を防ぐための取組を実施し、 関係機関との連携をとりながら、 環境保全の観点から調査を実施 します。また、調査結果に基づいて、 環境保全の取組計画を策定し、 関係機関との連携を図ります。		A			
			② 外來種への対策	外來種への対策については、外來種の 侵入を防ぐための取組を実施し、 関係機関との連携をとりながら、 環境保全の観点から調査を実施 します。また、調査結果に基づいて、 環境保全の取組計画を策定し、 関係機関との連携を図ります。	民生課							● 民生課		外來種への対策については、外來種の 侵入を防ぐための取組を実施し、 関係機関との連携をとりながら、 環境保全の観点から調査を実施 します。また、調査結果に基づいて、 環境保全の取組計画を策定し、 関係機関との連携を図ります。		A		
			③ 外來種への対策	外來種への対策については、外來種の 侵入を防ぐための取組を実施し、 関係機関との連携をとりながら、 環境保全の観点から調査を実施 します。また、調査結果に基づいて、 環境保全の取組計画を策定し、 関係機関との連携を図ります。	民生課							● 民生課		外來種への対策については、外來種の 侵入を防ぐための取組を実施し、 関係機関との連携をとりながら、 環境保全の観点から調査を実施 します。また、調査結果に基づいて、 環境保全の取組計画を策定し、 関係機関との連携を図ります。		A		
			④ 外來種への対策	外來種への対策については、外來種の 侵入を防ぐための取組を実施し、 関係機関との連携をとりながら、 環境保全の観点から調査を実施 します。また、調査結果に基づいて、 環境保全の取組計画を策定し、 関係機関との連携を図ります。	民生課							● 民生課		外來種への対策については、外來種の 侵入を防ぐための取組を実施し、 関係機関との連携をとりながら、 環境保全の観点から調査を実施 します。また、調査結果に基づいて、 環境保全の取組計画を策定し、 関係機関との連携を図ります。		A		

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

D（わずかに達成）

基本施策1.1 環境保全の推進

客観的な視点での環境保全基準を定め、積極的に目標設定と目標達成に向けた様々な取組みを進めます。

具体的な取り組み内容	環境状況調査の継続実施と実施検討
取り組み内容説明文	阿波連ビーチに関しては、現在沖縄県が実施する海水浴場の水質調査の継続を推進します。また、渡嘉志久ビーチに関しても、水質調査の実施検討を進めます。その他、必要と思われる環境状況調査を検討し、環境省や各種専門家と協力しながら進めていきます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	海水浴場の水質調査については、沖縄県の方針で調査が2年に一度に変更され、次回は次年度（平成31年）実施予定。 今後については環境省、県と協議の上必要な調査を引き続き検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 民生課 課長:新垣 聡 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	H31年度は実施済み。R3年度も実施予定。 検討は行っていない。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	H31は2カ所（阿波連小学校、渡嘉敷集落の井戸水）で実施。県実施の定点調査は継続して行う。そのほかの水質検査等の検討はされていない。
提言	・本計画内で実施すべき追加調査の必要性と対象を決定 ・現在候補に挙がっている渡嘉志久について実施するかしないかを決定することを提案

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

E（変化なし）

基本施策1.1 環境保全の推進

客観的な視点での環境保全基準を定め、積極的に目標設定と目標達成に向けた様々な取組みを進めます。

具体的な取り組み内容	環境基準値の共有
取り組み内容説明文	沖縄県が実施する海水浴場の水質調査の結果数値とともに、沖縄県が設定する環境基準値を共有します。また、必要に応じて、渡嘉敷村としてあるべき目標設定も検討します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	上記の海水浴場の水質調査については、調査結果を県の発行する「環境白書」で発表している。 渡嘉敷村として目標値を設定するかどうかは今後検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 民生課 課長:新垣 聡 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	結果数値と環境基準値は「環境白書」で発表している。 目標設定に関する検討は行っていない。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	結果数値と環境基準値は環境白書にて共有している。現時点では渡嘉敷村単体の目標設定については検討していない。 基準値を定めようとしたものの、基準値をどう定めればいいのかよく分からない。未来に向けて「どうやって着手していくか」というのがこれからの継続課題。
提言	沖縄県基準を超える厳しい基準が必要なのか、国立公園としてスタンダードなのか、他国立公園事例など確認が必要。必要ということであれば、「基準をどうすればよいかわからない」という点が一番のボトルネックなので、まずは現在の水質検査の結果をもとに、仮目標を決めることを提案。県基準を超えることを特に求められていないならば、現状の結果数値を公表するレベルでよいと考える。村内に共有し、村民の生活および観光に係る環境に対する意識レベル向上を図る程度でよいと考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

E（変化なし）

基本施策1.1 環境保全の推進

客観的な視点での環境保全基準を定め、積極的に目標設定と目標達成に向けた様々な取組みを進めます。

具体的な取組み内容	環境負荷削減につながる取組みの実施検討
取組み内容説明文	環境負荷削減に向けて、産学官連携も行いながら、新技術の活用や効果的な方法など、様々な取組みの実施を検討します。 また、国立沖縄青少年交流の家と連携しながら、環境についての学習機会の提供に向けた検討を進めます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	国が定める温室効果ガス削減目標は2030年までに2013年度比－26%。これをうけて、渡嘉敷村においても次年度から計画を策定し、取組みを実施予定。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	環境保全を主とした取組（協議）がされていない。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	環境保全を主とした取組（協議）及び計画の策定もされていない。進展させるためには、環境省含めて取組み方の検討が必要。
提言	進展させるためにはもう一段ブレイクダウンした計画が必要と考える。「温室効果ガス削減」に効果がある取組みは何かを明確にしその取組みに対して行動目標を定めることを提案。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

E（変化なし）

基本施策1.1 環境保全の推進

客観的な視点での環境保全基準を定め、積極的に目標設定と目標達成に向けた様々な取組みを進めます。

具体的な取り組み内容	環境協力税の妥当性の検討
取り組み内容説明文	環境負荷の増加に伴う現状の環境協力税の妥当性について改めて検討し、金額の増額を見極めます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	継続して検討。総務課だけで決定できることではないため、村民の声を聞き、各課と連携して進めていく必要がある。
ヒアリング	渡嘉敷村 総務課 課長:金城 満 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	検討はされていない。重要性は理解しているため、継続検討項目として慎重に進めていきたい。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	環境協力税は現在は100円の設定となっており、貴重な財源となっている。環境保全の維持に資する事業に充当しているが足りていない。村民も課税対象となるため、村民の意見も聞かなければならないので、竹富島のように値上げするのは非常に難しいと考えている。慎重に協議しなければならないため、今後も継続検討。環境協力税導入当初は村民からの反対の声もあったが何とか理解をいただき導入したという経緯がある。その経緯もあり増額するにはそれなりの納得できる理由と使い道の説明が必要。一番の財源にはなるため、必要性があることは間違いない。しっかりと検討して進めていきたい。進めていく議論がされる場合、最終的には村民全体への理解が必要だが、まずは各種団体の代表者等、人選をして意見を聴取し全体へと理解を広げていきたい。
提言	一歩目として、役場、商工会、観光協会、村民代表の複数名で協議を実施する。現状の使用内容やその決定スキームの検証も必要と考える。単年度での利用制限、基金化されているかなどの確認も必要。メンバー全員で必要性の確認、増額導入目標期日を定めることを提案

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

E（変化なし）

基本施策1.2 エコツーリズムの推進

渡嘉敷村全体で、自然環境をはじめとする地域固有の魅力を観光客に伝えていくと共に、地元住民も資源の価値を再認識し、大切にしていきたいと思ってもらえる取組みを進めます。

具体的な取り組み内容	良質なエコツアープログラムの開発・実施
取り組み内容説明文	幼児から大人まで、渡嘉敷村の豊かな自然の魅力を体験してもらい、自然の大切さと尊さを学んでもらう良質なエコツアープログラムや体験活動プログラムの開発を行い、実施します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	継続して検討。 現状エコツアーガイドのための認定制度等は設けていないが、村内事業者の努力により、計画策定時は4メニューであったものが、今年は8メニューに増加している。2022年までに20メニューが目標なので、これを達成するための施策について検討中。

ヒアリング	観光産業課 課長:玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	渡嘉敷村エコツーリズム推進協議会の活動が停滞。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	渡嘉敷・座間味でそれぞれ動いており、「慶良間諸島として一つでやっぺいこう」となってからは進捗無し。今後の動きとして、1歩目は慶良間全体の会議を開くこと。R3年度中1回は開催できるよう目指したい。
提言	「R3年度中に1回は実施」へむけ、第1回実施のためのプロセスを細かく設定して実行に移していくことが提案。同時に事業者レベルでの動きを村としてサポートできる施策の検討が必要と考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

A (達成)

基本施策1.2 エコツーリズムの推進

渡嘉敷村全体で、自然環境をはじめとする地域固有の魅力を観光客に伝えていくと共に、地元住民も資源の価値を再認識し、大切にしていきたいと思ってもらえる取組みを進めます。

具体的な取り組み内容	渡嘉敷村の魅力活用に向けた取組み
取り組み内容説明文	渡嘉敷村の最大の魅力である自然環境を持続可能な観光資源として活用するために村民及び観光客が守るべきルールを設定するとともに、そのルールを周知・共有していきます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	海水浴場利用時に観光客が守るべきマナーなどは看板やガイドブック等で継続して周知している。 次年度は阿波連ビーチ利用時のマナー等現在のルールのままでいいのか、周辺事業者と協議の上注意喚起看板を設置予定。

ヒアリング	観光産業課 課長:玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	阿波連ビーチ、渡嘉志久ビーチの利用に係る案内板はR2年度で完了し周知を図る。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	目標としては達成し、タオルを羽織って歩く観光客も増えてきた。今後も継続して周知させていく。
提言	ハード面は完了。今後はデジタル（HP等）でも発信し、継続していくことで定着化へ 現在の取り組みを継続すれば達成できる見込み。また、村民、村内事業者のソフト面にて、運用・改善する取組を加えることでさらに達成に近づくと考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

E（変化なし）

基本施策1.2 エコツーリズムの推進

渡嘉敷村全体で、自然環境をはじめとする地域固有の魅力を観光客に伝えていくと共に、地元住民も資源の価値を再認識し、大切にしていきたいと思ってもらえる取組みを進めます。

具体的な取り組み内容	渡嘉敷村を考える会の開催実施
取り組み内容説明文	青少年を含む村民や村内事業者など全てを対象に、渡嘉敷村の自然・歴史・文化など様々な視点から魅力を知り・考える会を開催し、地元へ愛着を持ち、好きになる、守っていく機運を高めていきます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	1-1-④の項目と同様、総務課だけでは対応できないので各課との連携が必要。開催の仕方について、要検討。

ヒアリング	総務課 課長:金城 満 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	変化なし。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	開催内容、開催方法など目標がざっくりしているので、不明確。もう少し細かく設定したほうがいいのではないかと考えている。「渡嘉敷村を考える」という大きなテーマというより、個別のテーマを設定して『自然、観光振興、これからの渡嘉敷』など計画した方がやりやすいと思う。「渡嘉敷村を考える会」という大テーマはあるもののそれをブレイクダウンしたものがよい。観光協会主催では協議会はいくつか持っているもので、それを一つの参考にしつ実施すれば、ゴールとして渡嘉敷村を考えることに繋がっていくのではないかと考えている。住民とのコミュニケーションという場としては、月に1回実施している住民懇談会がある。自由に討議できるため、住民が思っている事を吸い上げることはできていると考えている。歴史を学ぶことについては教育委員会主体で実施している（終戦の日に合わせて、等）。村民の意見を聞く、というのは必要性を感じている。
提言	本項目の目的は「渡嘉敷村の自然・歴史・文化など様々な視点から魅力を知り・考える会を開催し、地元へ愛着を持ち、好きになる、守っていく機運を高めること」となるので、別取り組みで代替できるのであれば差し替えも検討することを提案。現在の取り組み内容のまま進捗させるには、年4回程度の開催頻度としてまずは第1回を少人数で実施。そこで残り3回のテーマを決定することを提案。会の目的を明確にすると同時に、民間のファシリテーターを活用する等、会の進め方に変化を持たせることで新たな着地点も見えてくる可能性があるのではないかと考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

B（ほぼ達成）

基本施策1.3 環境美化の推進

渡嘉敷村は、国立公園として、日本の景観を代表し、世界的にも誇りうる傑出した自然風景を有していることから、その格式に見合った環境づくりに向けた取組みを進めます。

具体的な取組み内容	美化運動の実施
取組み内容説明文	村民との協力により、定期的に行われる「ゼロのつく日」の美化清掃とともに、地元ボランティアによるビーチや街中など村内のごみ拾い（年に3回）や、企業などのボランティア活動の支援を実施し、村内美化を目指します。 また、村民のみならず観光客も一緒になって環境美化を心掛ける機運づくりの他、拾ったごみを入れるごみ箱の設置やそれらを回収する仕組みづくりの検討を進めるなど、総合的な美化体制構築を目指します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	継続して実施中

ヒアリング	渡嘉敷村 民生課 課長:新垣 聡 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	継続して実施中。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	現状も継続して実施中。毎月ゼロのつく日のごみ拾い、美ら島清掃（観光客も含めて）、漂着ごみの回収、企業ボランティアなどを実施している。仕組化して回りつつある中で、さらに踏み込むとすれば、ごみやたばこのポイ捨てをなくす条例づくりなども考えられる。ごみ箱は青少年旅行村・ターミナル（中）に設置、渡嘉志久ビーチには公共的なものはないが、公共のごみ箱の設置は一旦完了。現状は充分と考えている。これからはごみを減らしていく活動をしていきたい。
提言	現在の取組みを継続していけば達成できると考える。さらに進めるにあたっては、船やホテルなどで「ごみを持ち帰る」喚起を中心に行う。ごみが環境に与える影響や島のキャパシティなどを訴えるのも良いのではないかと考える。村内への意識醸成としては、一部事業者にて公開されているが、ふるさと納税の返礼品としてのビーチクリーンなど、半分ボランティア半分ビジネスの事例を村役場内で共有するのも良いと考える。各施策単独での達成より横串での達成を目指していくことを提案。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

B（ほぼ達成）

基本施策1.3 環境美化の推進

渡嘉敷村は、国立公園として、日本の景観を代表し、世界的にも誇りうる傑出した自然風景を有していることから、その格式に見合った環境づくりに向けた取組みを進めます。

具体的な取組み内容	廃棄物の削減に向けた取組み
取組み内容説明文	正しいごみの分別方法を村民・事業者にも周知することで、リサイクルできる資源ごみを回収し、ごみの削減を目指します。 また、廃棄物になりえるものはなるべく村内に持ち込まないよう村民及び観光客に協力を図ります。
H30年度進捗状況 ヒアリング	住民・村内事業者にも周知徹底し、継続して実施中。

ヒアリング	渡嘉敷村 民生課 課長:新垣 聡 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	住民・村内事業者にも周知徹底し、継続して実施中。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	リサイクルできる廃棄物は茶色い瓶とペットボトルのみ。リサイクル費用を考えると、その他の品目全てをリサイクルに回そうというところに至っていない。分別は「燃えるゴミ」「不燃物」「ペットボトル」「瓶」。プラスチックごみは燃えるゴミに分別。リサイクルが決まっているものに関してはシステム化できている。観光客への呼びかけ状況は観光案内の中で「ごみの持ち込み」について触れているが、リサイクル部分は特に力を入れているわけではない。観光客が出すごみは一般生活ごみがほとんどのため、リサイクルや分別の品目を挙げて呼びかけるのはなかなか難しいと感じている。高速船やフェリーでの訴求は「持ち込まないで」より、「持ち帰りましょう」の方がよいと考えており実施している。HPや船関連の告知物での呼びかけを今後も実施していく。
提言	現在の取組みを継続していけば達成できると考える。「持ち込ませない」から「持ち帰りましょう」へ方向転換をしたことも施策の実現性、施策目的達成確度を高める良い判断であると考えている。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

D（わずかに達成）

基本施策1.4 外来への対策

渡嘉敷村在来の様々な動植物を守るとともに、村内の被害を減らしていくため、外来種駆除に向けた対策を進めます。

具体的な取り組み内容	生態系維持に向けた取り組み
取り組み内容説明文	外来種により、在来種に大きく影響を与えていることから、渡嘉敷村本来の生態系を維持していくため、防除など必要な取り組みを推進します。 また、今後更なる被害を防ぐため、村民及び観光客に対して、外来種被害予防三原則「入れない・捨てない・拡げない」の周知・共有を図ります。
H30年度進捗状況 ヒアリング	村内への持ち込みに届出が必要なものについて等、次年度ポスターを制作し、周知を強化していく予定。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長:玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	外来動植物の持込については、国立公園として環境省協力の下、島内入口となる定期船船員へ周知協力を求めている。また、外来動植物の持込について広報誌等で住民へ周知を図る。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	外来動物の持ち込みに関しては重要事項として取り組んでいる。イノシシ問題が最大の課題。船舶職員に周知をして、何かあった際は報告するようにしているが、島に入ってくる場所をどこでストップするか、というのが難しい。『持ち込ませない』『発生したもの』を減らしていくという2つを並行して進めていかなければならない。イノシシも家畜に入る可能性があるので条例で規制することが難しい。次のステップとして、持ち込みルートの把握、管理体制を構築していく。もう一つの問題であった「すっぽん」は現在はだいぶ減った。イノシシも減ったのではないかと感じているが実態の把握が難しい。柵を作ったことで、農作物の被害は少なくなっている。人への危害が心配だが、今のところ観光客への被害は発生していない。
提言	「防除」については現在の取り組みを継続して実施。「達成」の基準設定が難しい項目であるが、村としてはしっかりと取り組まれている印象。「外来種被害予防三原則「入れない・捨てない・拡げない」の周知・共有」については、例えば小学校の授業などで年1回、「外来種が渡嘉敷島に与える影響」などを行い、幼少期からの教育をしていくことを提案。存在来種を守り、特別感や接し方などを学ぶことで、将来的の観光に繋がる（生活の質が向上）する事に道筋も示せるのではないかと考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 1.【自然環境保全・活用】

C（半分程度達成）

基本施策1.4 外来への対策

渡嘉敷村在来の様々な動植物を守るとともに、村内の被害を減らしていくため、外来種駆除に向けた対策を進めます。

具体的な取り組み内容	害獣の駆除・捕獲に向けた取り組み
取り組み内容説明文	渡嘉敷村内の農作物・在来種被害を減らすため、様々な仕掛けを講じていながら、猪等の害獣の駆除や捕獲に向けた取り組みを進めます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	県・国と連携して対策を検討中。 駆除は多い時で月5~60頭実施しているが、畑や民家に入っこないような対策も併せて実施していく。
ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長:玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	環境省予算を活用し、県が事業主体となり渡嘉敷村、座間味村と協力し沖縄県指定管理鳥獣捕獲等事業を平成31年度から事業継続し箱罠や囲い罠、猟銃によりイノシシの駆除に取り組んでいる。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	昨年より集中捕獲（大きな囲いを作ってイノシシを追い込む）を実施し、だいぶ成果が出ている。毎年100頭以上捕獲しているが、毎年なのでそれだけ繁殖していることが予想される。今後も継続して取り組んでいく課題である。
提言	発生がゼロとなるまで継続して取り組む必要があるため達成進捗度「C」としているものの、村としてしっかりと取り組まれていると考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】設立済み

A (達成)

基本施策2.1 観光客受け入れ体制の整備

渡嘉敷村に訪れる様々な観光客（外国人も含む）に対して、丁寧で満足度の高い受入体制を整備します。

具体的な取り組み内容	観光協会の設立
取り組み内容説明文	観光推進に向けて、観光窓口ともなる観光協会を設立し、年間を通じて観光の平準化を目指します。 また、観光協会は、観光事業のみならず、渡嘉敷村の自然環境は観光財産でもあることから、環境保全について積極的にかつ、主導的に進めていく役割を担います。
H30年度進捗状況 ヒアリング	H31年4月観光協会設立予定。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	設立済み
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	今後は活用へ
提言	達成。今後は活用に向け体制面の強化（増員）が必要と考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

C（半分程度達成）

基本施策2.1 観光客受け入れ体制の整備

渡嘉敷村に訪れる様々な観光客（外国人も含む）に対して、丁寧で満足度の高い受入体制を整備します。

具体的な取り組み内容	質の高い観光案内の充実
取り組み内容説明文	観光客に渡嘉敷村の魅力をより深く知ってもらい、安全に楽しんでもらえるよう、知識とサービス精神を持った質の高い観光ガイドの育成を進めます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	今後設立予定の観光協会と検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	観光協会と連携し「島あっち」事業を展開している。また、村の観光振興事業でガイド育成セミナーを開催。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	現在はガイド育成のセミナーを行っているが、「ガイド認定」までもっていきたい。認定制度はまだないので、これから制度を創り観光協会主導でやっていきたいと考えている。⇒観光協会ヒアリング：村の外部のセミナーは村が仕切っているが、案内等は観光協会がやっている。島あっちーは以前から実施しており引き継いで受け入れを行っている。観光協会と交流の家との交流は現状はない。修学旅行はもう一つの柱だが、これらは現状は保留。体験学習を創っていている。
提言	現在の取り組みを継続。「ガイド認定」制度の創設など、5か年計画の中で進む方向が明確となっていると思われる。もう一つの取り組み事項である「村民に対しても観光客を快く受入れる機運づくり」とともに、基本的な案内ができるよう、周知・共有については村民懇談会などを活用して、啓蒙していくことを提案。また今年度実施の観光ガイド育成セミナーは中長期的計画の初年度であり、外の離島の事例共有・関係構築、島内の横の連携構築の礎を築けたのではないかと。今後はより裾野の広い参加者への周知・参加が求められる。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

C（半分程度達成）

基本施策2.1 観光客受け入れ体制の整備

渡嘉敷村に訪れる様々な観光客（外国人も含む）に対して、丁寧で満足度の高い受入体制を整備します。

具体的な取り組み内容	外国人観光客への案内対応サポート支援
取り組み内容説明文	渡嘉敷村内の観光関連事業者に対して、外国人対応が可能な体制構築に向けた支援と整備を進めます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	今年度村内事業者向け多言語セミナーを2回実施した。次年度は回数を増やして、継続して実施予定。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	H30, 31年度にかけて多言語セミナーを実施。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	2年かけて事業者を対象に外部講師を招いて研修を実施しており、指差しツールも作成済。研修は継続実施を目指す。ソフト面の向上は現状セミナーのみ。観光協会のHPが完成し、ポータルサイトができれば多言語化していく予定。日英韓中は対応済。外国人が困ると考えられるところは事業者とのやりとりだと思われる。現在のところ村内放送や船内放送などを英語で話せる人がいないことが一番の課題と考えている。
提言	言語についてはソフト面だけでは達成まで進捗させることは難易度が高い。本計画の残り期間の中では、達成すべきいくつかの項目を明確に定めて進捗させていくことを提案。例：①HPの多言語化②村内放送、船内放送の基本事項の英語放送の実施③事業者への翻訳系スマートフォンアプリの活用講習等 ※看板は多言語対応が進んでいる

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

C（半分程度達成）

基本施策2.1 観光客受け入れ体制の整備

渡嘉敷村に訪れる様々な観光客（外国人も含む）に対して、丁寧で満足度の高い受入体制を整備します。

具体的な取り組み内容	外国語対応への取り組み
取り組み内容説明文	観光客が最も多く集まる阿波連地区（旅行村）において、多言語案内所の設置検討と多言語対応可能な人材を採用し、外国人に対しての案内やルール厳守を徹底します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	次年度実施予定。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	青少年旅行村への外国人対応人材の配置は出来なかったが、施設案内やパンフ等の多言語対応へ取り組んだ。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	一括交付金で予算が取れたため1名人材派遣しようという話もあったが、その後管理のところ課題があり、現状は進展なし。ある程度英語ができる方を採用するよう呼び掛けている。昨年はコロナの影響もあり必要がなかったが、今年も設置の予定はない。採用できれば達成と考えている。 公募で旅行村の指定管理事業者が決定したので、その事業者に、努力義務レベルではあるが依頼をする予定。
提言	住居の問題から、島外からの人材の配置は難しいのではないかと推察。コロナ禍が解消されると期待されるR4までに採用がむずかしい場合は、本項目目的達成のために「ポケットク」等のITを活用した代替案を組み合わせることも視野に入れることを提案。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

C（半分程度達成）

基本施策2.1 観光客受け入れ体制の整備

渡嘉敷村に訪れる様々な観光客（外国人も含む）に対して、丁寧で満足度の高い受入体制を整備します。

具体的な取り組み内容	飲食店連携に向けた取り組み
取り組み内容説明文	昼食難民等の発生防止に向けた飲食店の連携協力を図り、安定的な営業が行える取り組みを進めます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	商工会を中心に取り組みを開始している。今後は設立予定の観光協会と連携しながら継続して実施予定。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	昼食難民を出さないために飲食店の定休日の重複について考慮してもらった。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	特に阿波連地区は来客数に対してのキャパシティが足りていない。現在のところ店舗の休曜日事業者間で連携してずらしてもらおう対応のみ。コロナ禍前は1日1000名以上の来島があった時期もあり、既存飲食店だけでは足りなくなったため、商店に協力依頼し惣菜を置いてもらっている。冬期も、稼働する店舗が減ることもあり、ランチのキャパシティが足りていない。飲食店の必要性について商工会、観光協会に提起している。直近でキッチンカー2台が新たに稼働する予定だが、どこで実施するか等、既存店舗との兼ね合いもあり課題が残っている。
提言	キャパシティの限界もあることからキッチンカーのは有効と考える。既存事業者の収益を守ることも考えると、「現在のキャパシティ」「需要に対する不足分」の2点を明確にし、不足分に対して増減できる本島からのキッチンカーの誘致に注力してみてはどうか。キッチンカー及び従業員のフェリー代や宿泊費の一部補助をすることで誘致しやすくなると思う。有効な施策検討のため、事業者向けの調査などを実施してはどうかと考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

D（わずかに達成）

基本施策2.1 観光客受け入れ体制の整備

渡嘉敷村に訪れる様々な観光客（外国人も含む）に対して、丁寧で満足度の高い受入体制を整備します。

具体的な取り組み内容	働く人材不足の解消に向けた取り組み
取り組み内容説明文	ホテルや民宿などの経営者の高齢化に伴う担い手や働く人材不足の解消に向けて、後継者育成や村内移住者の活用・マッチングを進めます。 また、必要に応じた外部からの人材確保に向けて、居住環境の整備充実を推進します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	引き続き検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	R 1～2 に村営住宅建設に取り組んだが入札不調が続き建設に至っていない。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	2年継続で予算確保し入札したが不調に終わっている。今後は違う方向で考えている。具体的には民間で建設してもらい、民間が家賃収入で運営をしていく方向。土地は村有地を提供し、民間で建設、維持、運営というスキームを検討している。候補地として2か所確保済み。何社か話済みだが正式には決定していない。まだ建設費が高価格ということもあり、オリンピック終了後まで各社様子を見ている感もある。座間味では同様のスキームで1棟4世帯で成功事例あり。渡嘉敷では1棟6世帯くらいを目指している。新たに住みたい人が土地を買うことは困難（売る人がほぼいない）。
提言	現在検討されている村有地の無償譲渡、民間経営は十分可能性があると考え。現在の村が抱える課題のボトルネックに「住宅不足」があるため直近の重点項目として対応されることを提案。または、村として、予算不足分を補うためのクラウドファンディングなども検討の選択肢に入れてみてはどうかと考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

B（ほぼ達成）

基本施策2.1 観光客受け入れ体制の整備

渡嘉敷村に訪れる様々な観光客（外国人も含む）に対して、丁寧で満足度の高い受入体制を整備します。

具体的な取り組み内容	各種サービス整備状況の事前周知活動
取り組み内容説明文	渡嘉敷村でのATMやクレジットカード等の各種サービス整備状況を観光客に事前に理解してもらい周知活動を進めます。 また、将来的には、サービス向上を目指した各種サービス機能の整備充実に向けた、関係機関との調整を検討します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	引き続き検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	村内でのATM情報は観光パンフまたチケット売り場等で周知を図っており、各事業者等へはクレジット決済キャッシュレスを推奨している。（チケット売り場はクレジット決済、NT予約完了）
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	銀行のATMはなく農協と郵便局のATMのみ。キャッシュレスを推進しており、ダイビングショップはほぼ導入済み。クレジット決済などについても沖縄銀行、琉球銀行などがきて説明会などを実施している。どこかの店舗で導入が進めば周囲の店舗へも導入が進むと思われる。導入率は商工会/観光協会が把握している。引き続きキャッシュレス決済導入を推奨していく。
提言	キャッシュレス化を推進している現在の取り組みを進めていけば本項目は達成できると思われる。キャッシュレスで気軽に訪れることができる島としてPRしていくと「離島」としての来島に関するハードルも軽減される可能性があると考え。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

B（ほぼ達成）

基本施策2.2 利用環境向上に向けた基盤整備の充実

離島ならではのWIFI環境の不安定さを極力減らすとともに、初めて来島した観光客を的確に案内できるような案内標識等の設置や、既存施設の維持管理を進め、快適な観光が行える基盤整備の充実に図っていきます。

具体的な取り組み内容	WIFI環境の整備
取り組み内容説明文	阿波連地区のWIFI環境の不十分さを解消し、快適で安定したネットサービスの提供を目指します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	NTT工事は次年度中に終了予定なので、H32年度より順次実施予定。

ヒアリング	渡嘉敷村 総務課 課長：金城 満 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	阿波連地区全体で利用できるというわけではなく青少年旅行村（バス停）周辺はwi-fiが利用可能。6月頃までには「森林公園ログハウスとトカシク海岸公園」への導入が完了予定。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	重要スポットについては整備済。（公共施設）
提言	設置自体はほぼ達成見込み。「達成」とするためには今後、夏の時期などの繁忙期にも観光客がストレスなく活用できるかを検証し、必要であればスペックをあげていくことが必要と考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

A (達成)

基本施策2.2 利用環境向上に向けた基盤整備の充実

離島ならではのWIFI環境の不安定さを極力減らすとともに、初めて来島した観光客を的確に案内できるような案内標識等の設置や、既存施設の維持管理を進め、快適な観光が行える基盤整備の充実を図っていきます。

具体的な取り組み内容	案内標識の整備検討
取り組み内容説明文	初めて訪れた観光客が迷うことなく、目的地にたどり着けるよう、多言語表記も含めた案内標識の整備検討を行います。
H30年度進捗状況 ヒアリング	今年度村内誘導看板を設置。次年度以降は、集落内看板の制作設置を検討中。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	島内 箇所へ多言語案内板を設置完了。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	観光振興計画で計画していた分の設置は完了。運用しながら不足の有無を確認していく。
提言	達成 今後は利用者の声が上がった場合にしっかりと拾い上げて、必要であれば拡充していくことを推奨。また整備済みのものについては運用で案内周知を広げる工夫が必要と考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

E (変化なし)

基本施策2.2 利用環境向上に向けた基盤整備の充実

離島ならではのWIFI環境の不安定さを極力減らすとともに、初めて来島した観光客を的確に案内できるような案内標識等の設置や、既存施設の維持管理を進め、快適な観光が行える基盤整備の充実を図っていきます。

具体的な取り組み内容	交通安全看板等の整備検討
取り組み内容説明文	渡嘉敷村内の交通ルールを守ってもらうよう、多言語表記も含めた交通安全看板等の整備を検討します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	継続して実施中。

ヒアリング	渡嘉敷村 総務課 課長：金城 満 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	引き継ぎ検討。予算もない。優先順位は低い。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	現在はレンタカー屋で丁寧に説明してくれており、通常の標識と合わせて、ある程度足りているという認識を持っている。引き続き検討していくが、交通ルールはある程度共通言語だと思われるので、現時点では限られた予算の中で、多言語案内の設置の優先順位は低いと考えている。
提言	交通安全看板については多言語表記よりもインフォグラフィックなど視覚的な表現を活用して、注意が必要な重要箇所に設置していくことを提案。一方通行を逆走する外国人観光客もいるため、一方通行箇所の視覚化は重点的に対策してはどうかと考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

A (達成)

基本施策2.2 利用環境向上に向けた基盤整備の充実

離島ならではのWIFI環境の不安定さを極力減らすとともに、初めて来島した観光客を的確に案内できるような案内標識等の設置や、既存施設の維持管理を進め、快適な観光が行える基盤整備の充実を図っていきます。

具体的な取り組み内容	船舶荷物運搬に関する利便性向上に向けた検討
取り組み内容説明文	修学旅行生を受け入れた際などの大量荷物の運搬をより円滑に行えるよう、利便性向上に向けた検討を進めます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	現在も船に旅行バッグを持ち込まず、コンテナに預けたり等工夫しているが、継続して検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 船舶課 課長：我喜屋 元作 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	継続実施
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	修学旅行に関しては、当初からコンテナを団体に預けて荷物を集約している。団体客荷物についての対策スキームが確立されており現状問題なし。
提言	達成 問題なく運用されている。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

B（ほぼ達成）

基本施策2.2 利用環境向上に向けた基盤整備の充実

離島ならではのWIFI環境の不安定さを極力減らすとともに、初めて来島した観光客を的確に案内できるような案内標識等の設置や、既存施設の維持管理を進め、快適な観光が行える基盤整備の充実を図っていきます。

具体的な取り組み内容	既存の観光・交流施設の維持管理の推進
取り組み内容説明文	現状の観光・交流施設に対して、不備や破損等の有無の確認を定期的を実施し、適正な施設の維持管理を推進します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	継続して実施。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	定期的な管理及び指定管理者を設置し適正な維持管理に努めている。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	担当者がチェック表に基づいて定期的にチェックを行っている。スキームはできているが青少年旅行村が老朽化しているため、その対応が完了するまで「達成」ではないと考えている。
提言	青少年旅行村の対応が完了すれば達成。やるべきことが明確であり、現在の方針のまま継続して取り組んでいくことを推奨。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

B（ほぼ達成）

基本施策2.3 各種予約システムの構築

渡嘉敷村への来島の際の最初の窓口となる船舶の予約サイトの改善と、宿泊・飲食店の予約サイト構築により、利便性の向上を目指します。

具体的な取り組み内容	船舶の予約サイトの改善
取り組み内容説明文	現在の本村の船舶予約サイトについて、よりわかりやすく使いやすい仕様になるよう改善し、ストレスのないサイトリニューアルを目指します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	今年度も改訂しているが、随時改善を予定している。

ヒアリング	渡嘉敷村 船舶課 課長：我喜屋 元作 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	改善済みであるが、さらに改善が必要であれば実施する。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	使いづらいなどの声が上がったタイミングで可能な限り速やかに対応、改修している。保守費を超える、追加経費が掛かる修正については、課題として翌年度予算に計上し改修するというサイクルで運用している。R3については大きな改善の声も上がっていないため、保守費で対応していく予定。本5年計画で予約決済機能導入まで完了したいと考えている。
提言	本5年計画では完全リニューアルは想定されていないとのことだが、計画期間中に予約決済を追加したいという意向。現在は定期的に改善しているとのことなので、継続していくことを推奨。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

C（半分程度達成）

基本施策2.3 各種予約システムの構築

渡嘉敷村への来島の際の最初の窓口となる船舶の予約サイトの改善と、宿泊・飲食店の予約サイト構築により、利便性の向上を目指します。

具体的な取り組み内容	宿泊施設や飲食店の予約サイトの構築
取り組み内容説明文	渡嘉敷村内の多くの宿泊施設や飲食店等の情報を整理し、総合的な窓口予約サイトの構築を検討します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	今後設立予定の観光協会と検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	観光協会のHP立ち上げや総合予約サイト確立について
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	観光協会のHPは今年度（令和3年3月）オープン予定。予約ポータルサイトは来年度以降取り組んでいく。計画は具体的になっており、補助金も出ている。見通しは立っているので行政として観光協会をバックアップして進めていく。⇒観光協会ヒアリング：HPの立ち上げについて、協会が制作中。21年3月に立ち上がる観光協会独自のHPではまだ予約システムは入らない。コンテンツは会員紹介、渡嘉敷のPR、事業ごとに案内していく予定。
提言	実施していきたい方向性、具体的な内容も明確なため、現在の方針のまま継続されることを推奨。本項目からは少し拡大した話となるが、今後に向け、村全体のデジタル活用の方向性を整理し、道筋を示してはどうかと考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

E (変化なし)

基本施策2.4 交通網の充実

渡嘉敷島への移動、島間の移動が円滑に行え、かつ、島内を楽しんで巡り、周遊できる交通網を充実していきます。

具体的な取り組み内容	適正な船舶の運用体制づくりの推進
取り組み内容説明文	今後の渡嘉敷村の適正な観光客数をしっかりと議論した上で、必要に応じた運用体制の構築を進めます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	村の適正な観光客数を議論する上で、今現在渡嘉敷で宿泊している観光客数のカウントが必要。 船舶のデータでは出せないため、宿泊施設へのヒアリングを今後設立予定の観光協会と検討していく。

ヒアリング	渡嘉敷村 船舶課 課長：我喜屋 元作 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	観光宿泊数については、観光協会と連携する。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	離島間の移動船『みつしま』は座間味村で出してもらっている。観光目的来島数の把握は船舶課だけではできない。現在のところ船舶に乗る人が宿泊目的かどうかの情報はとれていない。予約時に宿泊か日帰りかを聞くこともできと思うが、現在の運用だと難しいと考えている（ネットで予約した人も窓口での購入が発生するため）。また、予約システムに組み込むにも、全ての乗客が予約をしてくるわけではないのが現状。観光協会が出来たので、宿泊客数に関しては連携して情報を獲れるようになる見込み。日帰りの有無については船舶課・那覇事務所で実施。キャンプ客もいるため、日帰りの有無だけでは施設への宿泊客数はとれない。観光協会がイベントを実施した時、船舶を臨時運営することなどは可能。
提言	「適正な観光客数」の定義を定めることを提案。現在の宿泊数をカウントするのではなく、物理的にカウントできる現在のインフラ（宿泊可能数、ランチ席数、船舶のキャパシティ、レンタカー台数等）から、「観光客が快適に過ごせる、少し混みあっている、過剰な状態で快適に過ごせない」のラインを定義し、村として、「観光客が快適に過ごせる」というラインをあげていくためにすることは？という視点で取り組み内容を検討いただくとよいかと考える。新しい旅のエチケットも意識しながら考えていくことも必要と思われる。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

E (変化なし)

基本施策2.4 交通網の充実

渡嘉敷島への移動、島間の移動が円滑に行え、かつ、島内を楽しんで巡り、周遊できる交通網を充実していきます。

具体的な取り組み内容	慶良間諸島の周遊航路の検討
取り組み内容説明文	観光客が楽しめる観光を実現するため、渡嘉敷島から慶良間諸島を周遊できる航路の検討を行います。
H30年度進捗状況 ヒアリング	どのくらいの利用者が期待できるのか、フェリーでの運航は厳しい。民間事業者で検討したほうが良いのか、さんごの日などイベントに合わせてが良いのか、引き続き検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 船舶課 課長：我喜屋 元作 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	観光協会が主導して企画イベントを実施してほしい。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	「花とくじらまつり」という港で開催する鯨の造形花とホエールウォッチング等を楽しめるイベントをH15～何年か継続して実施していたが、最近は実施していない。船舶課のみではイベントを企画しづらいため観光協会と連携していきたい。⇒観光協会ヒアリング：慶良間全体としての周遊は、環境省の予算を使って商品を創れば良いのではないかと考えている。観光協会からの声出しができればいいと考えている。
提言	慶良間諸島全体の活性化のためには周遊ルートの創設は望ましいが、収益面を考えると現段階では現実的には厳しいと思われる。観光協会で検討されている通り、環境省などの予算を使い、商品造成し軌道に乗せていくことが必要と考える。慶良間諸島全体を巻き込んだ動きについては、観光協会の取り組みに対して村が積極的に支援していくことを推奨。慶良間全体をどう巻き込んでいくかをしっかりと描いて行動する必要があると考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

C (半分程度達成)

基本施策2.4 交通網の充実

渡嘉敷島への移動、島間の移動が円滑に行え、かつ、島内を楽しんで巡り、周遊できる交通網を充実していきます。

具体的な取り組み内容	島内周遊バスの運用の検討
取り組み内容説明文	現状、島内にある展望台や各種様々な観光名所を繋げ、島を巡って楽しんでもらえる周遊バスの運用を検討します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	利用客がどのくらい見込めるのか、不透明。民間事業者（タクシー等）の利用で良いのでは？引き続き検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	民間事業者（バス、タクシー、レンタカー）及び商工会、観光協会へ委ねている。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	現在の島内移動はレンタカーが主流。バスは公共交通機関のため値上げも難しく通常運行の収益は厳しい。タクシーは2台しかなく、1日貸切ると金額がかかる。以前は運転代行の事業者があったが、夏は良いが、冬に収益が厳しくなることから撤退。計画策定当時は周遊バスの運行を検討していたが、団体でないと事業収支が合わないためスポットで年に1、2回しか運行していない。（企業の慰安旅行等）貸切等はHPでも紹介しているが、あまりニーズはない。夜間は公共交通機関もなく、代行などもないため夕方を過ぎると集落間の交流が無くなる。
提言	事業収支が合わないことも過去実績より明確であり、本計画内では、村としての周遊バス運営については検討対象外ということで良いと考える。今後については本項目について引き続き検討をするのであれば、島の周遊する交通手段という視点と、島内店舗（宿泊・食事・アクティビティ）利用を促す視点から予約サイト構築等ともセットで検討すべきと考える。予算を投入し実証を行う場合、「民間による自走化」も視野に入れる必要があるが、その可能性が無いのであれば、計画変更を検討すべきと考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

B (ほぼ達成)

基本施策2.5 避難対策の整備

地元住民だけでなく、観光客に対してもわかりやすく、安全に避難が行えるように案内板の設置やマニュアル作成等の避難対策を整えます。

具体的な取り組み内容	避難場所の案内板の設置
取り組み内容説明文	災害時に住民や観光客誰もが安全に避難できるよう、避難場所の案内板を設置します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	H29年度に案内板設置。 村が発行するMAPにも避難所を追記するなど対応中。今後は新たな避難経路が制定されれば随時更新していく。

ヒアリング	渡嘉敷村 総務課 課長：金城 満 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	R3年度については予算もついて対応済み。事業予算もついている。渡嘉志久まで完全に設置されれば達成見込み。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	R3年度については事業予算もついている。渡嘉志久に設置完了すれば達成。
提言	現在の取り組みで達成見込み。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

E (変化なし)

基本施策2.5 避難対策の整備

地元住民だけでなく、観光客に対してもわかりやすく、安全に避難が行えるように案内板の設置やマニュアル作成等の避難対策を整えます。

具体的な取り組み内容	避難時の対応マニュアルの作成・配布
取り組み内容説明文	避難時の対応について簡単なマニュアルを作成し、船舶内や民宿等に設置します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	次年度見直しを行う。

ヒアリング 渡嘉敷村 総務課 課長：金城 満 様

R2年度進捗状況
ヒアリング

具体的な進捗状況の
ヒアリング結果等 予算の枠組みの中でこの事業をやっているが、本件は現状は予算の関係で見送っている。予算をつけて実施していきたい。

提言 大きな予算や長い時間が必要な項目ではないため、実施する時期を決めて公募などで推進していくことを提案。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 2.【観光客受入体制】

E (変化なし)

基本施策2.6 非常時における対応

観光客の観光中の怪我や病気などの非常時に向けた対策を整えます。

具体的な取り組み内容	非常時の対応マニュアルの作成と周知
取り組み内容説明文	観光客の観光中の怪我や急な病気の際に対応できるよう、マニュアルを作成するとともに、その周知を図ります。
H30年度進捗状況 ヒアリング	継続して実施。

ヒアリング	渡嘉敷村 総務課 課長：金城 満 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	同上。必要性については感じている。119番で対応はできている。運用はまわっている。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	必要性は感じており、予算がつけば実施する。けがや病気の際の運用は消防や事業者と連携し、現状問題なくできていると考えている。
提言	現在運用が回っているため、その運用をドキュメント化して事業者へ配布するとともに村や観光協会のHPへ掲載していくことを推奨。大きな予算は不要な項目のため、可能であればR4での着手、完了を推奨。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 3.【観光メニュー】

D (わずかに達成)

基本施策3 観光メニューの創出

渡嘉敷村の有する自然や歴史文化、人を最大限に活用した年間通して楽しめる観光メニューを創出していきます。

具体的な取り組み内容	渡嘉敷村の観光資源を活用した体験メニュー・プログラムの創出
取り組み内容説明文	年間を通じ、農林漁業との連携による、渡嘉敷村らしい自然・歴史・文化に感じながら、島民とのふれあいのある体験メニュー・プログラムを創出します。 また、渡嘉敷村の有する様々な観光施設の活用と、環境や平和についての学習の視点を含めた観光メニュー・プログラムづくりも検討します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	農林漁業と観光の連携を高められるよう、役場の担当課を新設。観光メニューは現在増加している傾向にあるが、これを推進するための施策を、観光協会と連携して引き続き検討していく。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長:玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	進展なし
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	陸での観光メニューがなかったが島あっちーを活用することで造成することができた。観光協会が出来たので、主軸にしてさらなる観光メニュー開発を進めていく。今後は観光協会などから上がってきた提案に対して行政がメニュー化の判断をする。
提言	本項目については観光協会がキーを握っていると考えられる。別項目でも課題として記載しているが、観光協会の人員充足が肝要。村事業や県事業の仕掛けを連動させて取り組みをさらに活性化させることを推奨。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 3.【観光メニュー】

C (半分程度達成)

基本施策3 観光メニューの創出

渡嘉敷村の有する自然や歴史文化、人を最大限に活用した年間通して楽しめる観光メニューを創出していきます。

具体的な取り組み内容	観光イベントの継続開催、及び新規の企画検討
取り組み内容説明文	村内観光誘客イベントの継続開催を進めるとともに、新たな客層を呼び込める観光イベントの企画を検討します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	新たなイベントの開催を検討するだけでなく、既存のイベントの実施内容、実施時期について等現行のままで良いのか、議論が必要。引き続き検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長:玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	コロナウィルス感染症拡大によりイベントへについて一新する必要がある。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	祭りの実施についても検討するよう要請がきているが、難しい。祭りをやるとしても人数制限をするかなど、検討材料は多い。マラソンもスタートラインが密になるため現状は難しいと考えている。既存イベントについてはwithコロナへの見直しが必要と考えている。直近においては新しい企画、イベントを開発していくということよりも、既存イベントをwithコロナにどのように適応していくかが課題と考えている。
提言	コロナ禍で新たに追加するイベントとして、大人数ではなくコアな層が取り組むような大会の誘致を考えてはどうか。例えば山と海を売りにする渡嘉敷村ならではのトレイルランニング大会等の誘致検討を提案。(山間ではイノシシなどの出没リスクがあるか?) 国立公園渡嘉敷村のブランドを全世界へPRできるような(観光客を量で呼ぶことではなく) イベント、大会、会議の開催も検討の余地があると考えます。 村民の若い世代がSNSで繋がり、自発的にイベント等を実施している現状も有るので、この動きを行政が支援する施策も検討すべきと考えます。(村役場と村民のより深いコミュニケーションのきっかけにもなるのではないかと)。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 3.【観光メニュー】

C (半分程度達成)

基本施策3 観光メニューの創出

渡嘉敷村の有する自然や歴史文化、人を最大限に活用した年間通して楽しめる観光メニューを創出していきます。

具体的な取り組み内容	観光ルートづくりの推進
取り組み内容説明文	国立沖縄青少年交流の家をはじめ、観光・教育施設を活用しながら、渡嘉敷村内の様々な魅力ある地域性を巡って楽しめる周遊観光ルートづくりの他、慶良間諸島の島々や渡嘉敷島を繋げる広域観光ルートの構築を進めていきます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	今後設立予定の観光協会と検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長:玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	観光協会と事業者が取り組み事業化。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	「交流の家」を十分に巻き込めていないため、今後は交流の家との交流を深めていきたいと考えている。島あっちーは渡嘉敷だけの事業。みつしまが運行されたのが慶良間広域観光ルートの一歩目ではあると考えている。みつしまはH26一括交付金を活用して設置された。現在も運航しているが、定期船とはなっておらず事業化のスタートラインにはまだ立てていない状況。⇒観光協会ヒアリング：予算を組んでいない状況。慶良間諸島をつなぐ周遊コースは企画自体は出てきているが、民間ベース。環境省が入ってきているので、環境省をからめて慶良間諸島国立公園として売っていく。民間を管理していくのが観光協会の仕事だと思っている。
提言	交流の家との交流を深めていきたいということなので、本項目についてはR3は交流の家との連携強化に重点を置き、3つ程度の具体的な目標を設置して、その達成に向けた取り組みを実施することを推奨。交流の家、環境省、(場合によっては座間味村観光協会等)の立ち位置や役割も再確認すると良いと考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 4.【地域ブランディング】

B（ほぼ達成）

基本施策4.1 渡嘉敷村としてのブランディング

地域特なお土産の開発や、観光客へのマナー・ルールの周知・徹底を行うとともに、渡嘉敷村の個性が発揮され、価値を高めるための適切なブランディングを行っていきます。

具体的な取り組み内容	お土産品の開発
取り組み内容説明文	村内の特産物を活用した新たなお土産品の開発を行います。
H30年度進捗状況 ヒアリング	商工会を中心に、女性部等新商品開発は進んでいる。継続して実施。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	商工会女性部により「おかず味噌」等新たな商品開発に取り組んでいる。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	女性部の努力もあり、いくつかのお土産が開発された。おかずみそ、ゼリー、ジャムなどが売れている。順調にきているが、さらにも一歩頑張ってもらいたいという思いはある。現在の課題として考えているのは材料の供給。現在は自然の野イチゴやヤマモモが採れる時期のみの生産となっているが、野イチゴやヤマモモを栽培し、1年を通じて安定供給ができる体制を目指したい。次のステップは安定供給と考えている。
提言	本5か年計画で設定された「新たなお土産品の開発」については取組が進んでいる。季節（収穫）の影響を受ける商品が多いようなので、村外の助成金なども活用して産業まで育てていく取組みに期待したい。※商工会の主な役割としては融資の仲介と経営指導

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 4.【地域ブランディング】

B（ほぼ達成）

基本施策4.1 渡嘉敷村としてのブランディング

地域特有なお土産の開発や、観光客へのマナー・ルールの周知・徹底を行うとともに、渡嘉敷村の個性が発揮され、価値を高めるための適切なブランディングを行っていきます。

具体的な取り組み内容	観光マナーの周知・徹底に向けた取り組み
取り組み内容説明文	観光客に対して、生活の場でもある渡嘉敷村内集落への理解促進を図るとともに、美しく綺麗な島の風景を守るためマナーの周知・徹底に向けた取り組みを図ります。。
H30年度進捗状況 ヒアリング	村内看板・ポスター等周知方法について、引き続き検討。継続して実施。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	観光パンフ等で周知（環境に優しい日焼け止、水着歩行NG、珊瑚等採取禁止、ゴミ分別、交通ルール）
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	観光振興計画で設定したものについては実施済みであるが、「観光客へ継続して伝えていく、啓蒙していく」という意味では今後も継続して実施していくべき事項なので、完了ではなく継続していくということでB（ほぼ達成）にしている。昨年実施したがまだまだ声が上がっており、なかなか100%にはならない項目であり今後も継続していく。
提言	順調な進捗 現在の取り組みを継続することで達成できると考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 4.【地域ブランディング】

A (達成)

基本施策4.1 渡嘉敷村としてのブランディング

地域特なお土産の開発や、観光客へのマナー・ルールの周知・徹底を行うとともに、渡嘉敷村の個性が発揮され、価値を高めるための適切なブランディングを行っていきます。

具体的な取り組み内容	安全安心な観光に向けた取り組み
取り組み内容説明文	渡嘉敷村水難事故防止推進委員会で検討されている内容について村内ダイビング協会関連事業者への共有を図るとともに、関連事業者との共通認識に向けた会議の場づくりを進めます。 また、観光客に対して、渡嘉敷村での事故ゼロを目指して、そのルールの周知・徹底に向けた取り組みを図ります。
H30年度進捗状況 ヒアリング	今後設立予定の観光協会と検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	阿波連ビーチ及び渡嘉志久ビーチの利用について地域利用者と協議を行いルールを確立した。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	阿波連ビーチ及び渡嘉志久ビーチの利用についてのルールは確立した。ルールの周知・徹底に向けた案内板は今年3月までには設置。設置完了をもって本項目も完了。ハードはできているので、ソフトの充実を進めていく。
提言	達成。今後は運用へ。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 4.【地域ブランディング】

C (半分程度達成)

基本施策4.1 渡嘉敷村としてのブランディング

地域特なお土産の開発や、観光客へのマナー・ルールの周知・徹底を行うとともに、渡嘉敷村の個性が発揮され、価値を高めるための適切なブランディングを行っていきます。

具体的な取り組み内容	地域ブランディングの構築に向けた取り組み
取り組み内容説明文	渡嘉敷村を特徴づけ、独自性のあるブランディング構築に資する基本的なデザインルールの検討等の取り組みを図っていきます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	引き続き、検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	進展なし
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	渡嘉敷村としての島のブランディングを、トンマナの統一、クリエイティブ面からもしていこうとしている。過去にデザインルールの統一に向け取り組んだがまとまらず停滞。昨年、観光協会を立ち上げたので、今後は観光協会中心に（商工会含め）取り組みをしていきたいと考えている。
提言	R4に予定している村のHPリニューアルと合わせて、デザインルールも提案してもらい、村民投票などで決定していくことを提案。村民の意志の基に、村のHPを明確なコンセプト、デザインルールをもってリニューアルし、それを村民にPRし、追従してもらうことでデザイン統一による渡嘉敷村全体のブランディングを進めてはどうか。先にデザインルールを決めるのではなく、先にデザインルールに則ったシンボル（村HP）を創り、それを浸透させていくという進め方が良いのではないかと考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 4.【地域ブランディング】

B (ほぼ達成)

基本施策4.2 慶良間諸島全体としてのブランディング

座間味村との連携を図り、慶良間諸島全体として共通のブランディングの方向性を定めていきます。

具体的な取り組み内容	慶良間諸島全体での観光振興への取組み
取り組み内容説明文	慶良間諸島国立公園のステップアッププログラムに基づき、座間味村との連携した取組みを進め、慶良間諸島全体のブランディングを図っていきます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	継続して実施。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長：玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	慶良間諸島国立公園満喫プロジェクトにおいて取り組んでいる。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	環境省の事業の国立公園満喫プロジェクト「慶良間諸島国立公園ステップアッププログラム2020」があり、具体的に取り組みはしているが、慶良間諸島全体ではなく各島でそれぞれ取り組んでいる状況。慶良間諸島国立公園満喫プロジェクトは今年で終わり、来年度からまた新たに始まる。慶良間諸島全体で取り組めれば成果も上がっていくと思っている。
提言	慶良間諸島国立公園ステップアッププログラム2020の計画の中でも達成まで至っていないものがある。新たに始まる環境省の予算を活用し、「慶良間諸島」として取り組む事項を意識して設定していくことを推奨。同時に環境省との連携強化も実施していくとよいのではないかと考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 5.【誘客プロモーション】

D（わずかに達成）

基本施策5.1 情報発信の充実

村の現状や魅力をリアルタイムで発信していきながら、観光客の呼び込みを進めます。

具体的な取り組み内容	村ホームページの改訂
取り組み内容説明文	観光客の視点を意識した、渡嘉敷村の様々な魅力を伝えていく村のホームページの改善を目指します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	次年度実施予定。

ヒアリング	渡嘉敷村 総務課 課長:金城 満 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	コロナで予算を振り向けることが出来ない。凍結中。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	令和3年度は実施予定なし。令和4年度以降に実施予定。HPについては住民も関心を持っている。令和2年度1000万円の予算を組んだが凍結。1000万円の予算は構築費用で、運用費用は含まれていない。
提言	現在のHPは確かに少し古い印象。HPリニューアルには大きな予算がかかるためR4での実施とのことなので、R3については低予算で実施できる公式SNS等の取り組みを強化することを推奨。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 5.【誘客プロモーション】

C (半分程度達成)

基本施策5.1 情報発信の充実

村の現状や魅力をリアルタイムで発信していきながら、観光客の呼び込みを進めます。

具体的な取り組み内容	SNSを活用した定期的な情報発信
取り組み内容説明文	FacebookやInstagram等のSNSを活用して、渡嘉敷村の魅力を定期的に発信し、プロモーションを図っていきます。
H30年度進捗状況 ヒアリング	今後設立予定の観光協会と検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長:玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	デジタル媒体の活用が弱い。観光協会のHPで情報配信を考えているが未確立。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	現在はFacebookのみだがInstagramもやっていきたい。観光協会も人材不足で手が回っていない。代理店を使って運営しても良いと観光協会に話をしている。観光協会ヒアリング⇒Facebook、Instagram、Twitterは2021年3月で立ち上げる。人件費予算を確保し事務員を募集しており、4月から週3日程度のスタッフ候補者あり。
提言	SNS活性化のためには観光協会の人材確保が重要と考える。一方で、SNSを運用するという視点だけに立てば、オンラインツールである以上、島内常駐でなくても実施は可能。採用が困難であれば、島外の人材へ遠隔での支援を依頼することも視野にいれることを提案。最近は様々なスキルを持ったプロ人材と自治体や企業をマッチングするサービスもあるので、そのようなサービスの活用も有効ではないかと考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 5.【誘客プロモーション】

A (達成)

基本施策5.1 情報発信の充実

村の現状や魅力をリアルタイムで発信していきながら、観光客の呼び込みを進めます。

具体的な取り組み内容	デジタルサイネージの設置
取り組み内容説明文	泊港のフェリー・高速船のチケット売り場などに、日々の渡嘉敷村の状況などの観光情報を掲示するデジタルサイネージを設置します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	継続して実施中。

ヒアリング	渡嘉敷村 船舶課 課長:我喜屋 元作 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	デジタルサイネージは設置済み
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	デジタルサイネージの設置は完了。情報発信のコンテンツの充実については船舶課ではなく、観光産業課が担当。渡嘉敷のフェリーターミナルは通常のニュースと船舶の運航状況などを発信。船舶の予約システムを入れた時に導入した。那覇のとまりんでは観光系の情報を発信している。コンテンツの改善の余地、充実の余地はあると考えている。
提言	達成 今後はコンテンツの充実化へ。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 5.【誘客プロモーション】

B (ほぼ達成)

基本施策5.2 誘客プロモーション活動の推進

現在活動している修学旅行生の誘客を継続的に推進するとともに、旅行博等のイベントへの参加も積極的に進めながら、誘客に向けた活動を推進していきます。

具体的な取り組み内容	修学旅行の誘客
取り組み内容説明文	修学旅行生を呼び込むための営業活動を継続的に実施します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	継続して実施中だが、今後は設立予定の観光協会と検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長:玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	設立した観光協会が担っているが、コロナウィルス感染症により受入方向性の検討が必要。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	修学旅行生の誘客については、観光協会が担っている。コロナがなければ2020年は8校が修学旅行にくる予定だった。様々な地域に行き誘客活動を行っている。最近名古屋の学校が減ったためヒアリングしたところ、飛行機の機材が小さくなったことで、1度に乘れず管理が煩雑になるため、大きな機材が飛んでいる別地域になったとのこと。
提言	取組みはしっかりと行われている。コロナ禍により、R3については例年海外への修学旅行を実施していた学校もターゲットになるため、対象となる学校の早期リストアップとオンラインによる初期コンタクトを実施することを推奨。また旅行会社等もコロナ禍での取組みを始めているため、直学校へのアクションと同時に、旅行会社等への情報収集も同時進行する必要があると考える。あわせて島内事業者のコロナ禍での取組も整理して内発的な動きも考慮していく必要もあると考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 5.【誘客プロモーション】

B (ほぼ達成)

基本施策5.2 誘客プロモーション活動の推進

現在活動している修学旅行生の誘客を継続的に推進するとともに、旅行博等のイベントへの参加も積極的に進めながら、誘客に向けた活動を推進していきます。

具体的な取り組み内容	誘客イベントへの参加
取り組み内容説明文	渡嘉敷村の魅力が伝わり、誘客の効果が期待できる観光関連イベントを吟味・選択し、そのイベントへの参加により、渡嘉敷村観光誘客に向けたPRを実施します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	継続して実施中。 今年度は大きくマラソン関連イベントをより渡嘉敷マラソンと親和性の高い大会でのPRを強化するなどを実施。次年度はターゲットの趣味趣向別のイベントに出展予定。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長:玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	毎年計画して取り組んでおり、R1までは県外イベント等へ参加しPR活動を実施した。今後は、コロナウィルス感染症拡大によりイベントやPR方法等について検討が必要がある。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	4月にイベントへ出展予定 (マリンダイビングフェア/池袋サンシャイン)
提言	コロナ禍以前は、明確な目的をもってイベントに参加されていたとすることで今後も継続していくことで達成度合いが上がっていくと考える。R3についてはまだコロナとの共存せざるを得ない年となるので、その前提でのPR計画が必要と考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 5.【誘客プロモーション】

A (達成)

基本施策5.2 誘客プロモーション活動の推進

現在活動している修学旅行生の誘客を継続的に推進するとともに、旅行博等のイベントへの参加も積極的に進めながら、誘客に向けた活動を推進していきます。

具体的な取り組み内容	パンフレットやポスターの作成・配布
取り組み内容説明文	村外での誘客プロモーション活動実施に伴って、費用対効果を見極めながら、渡嘉敷村の魅力を発信できる有効で適正なパンフレットやポスターを検討するとともに、必要に応じて作成・配布を行います。
H30年度進捗状況 ヒアリング	上記施策に合わせて、次年度ターゲット別にツールを制作・配布予定。 また既存のツールについては用途によって、必要部数を調整するなど、効果的な利用について引き続き検討を重ねる。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長:玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	PRツールについてはターゲットを絞った女子旅パンフ等も作成したが、今後は感染症対策を考慮しデジタル媒体によるツール作成が必要。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	PRツールについてはターゲットを絞った女子旅パンフレット等を作成。観光振興計画に設定された項目については達成。今後はコロナ禍ということもあり、デジタルを強化していく方針。
提言	達成 今後強化していくデジタルについて低コストでスピーディな立ち上げが可能になるため、現在のパンフレット素材を活用することを推奨。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 5.【誘客プロモーション】

B (ほぼ達成)

基本施策5.2 誘客プロモーション活動の推進

現在活動している修学旅行生の誘客を継続的に推進するとともに、旅行博等のイベントへの参加も積極的に進めながら、誘客に向けた活動を推進していきます。

具体的な取り組み内容	デジタルコンテンツの制作検討
取り組み内容説明文	SNSなど時代に合わせた活用できるデジタルコンテンツの広告ツール制作を検討します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	今後設立予定の観光協会と検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 観光産業課 課長:玉城 広喜 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	観光協会HP立ち上げに着手しているが活用はまだ。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	デジタルコンテンツの広告ツールとあるが、観光振興計画策定時に想定していたのはデジタルナビやデジタルサイネージ。デジタルサイネージは設置完了している。そのほかは現在のところHPのみ。役場での担当範囲は完了したと考えていて、今後は観光協会に必要なものを挙げてもらう。整理して、次年度以降も継続して実施したい。今後は活用に重点を置いていく。デジタルサイネージでは『今日利用できる店舗の紹介』などもできればいいと考えている。
提言	計画策定時に想定していたデジタルサイネージの設置は完了しているが、コンテンツは足りていないと考える。設置場所がフェリーターミナルのため、誘客ではなく、渡嘉敷島内での旅の充実を支援するコンテンツが良いのではないかと考える。島内モデルルートや希望する事業者の情報提供を行うなど「旅ナカ」コンテンツの充実化を推奨。掲出を希望する事業者側でコンテンツを用意してもらうことで、コンテンツ数UPのスピード化がはかれるのではないかと考える。

3. 渡嘉敷村観光振興計画 ヒアリング結果報告書

②ヒアリング結果報告書

基本方針 5.【誘客プロモーション】

D（わずかに達成）

基本施策5.3 交流活動の推進

他自治体を中心に、交流する機会を創出しながら、渡嘉敷村のより良いプロモーションに寄与する取り組みを進めます。

具体的な取り組み内容	他自治体との交流機会創出の検討
取り組み内容説明文	共通点のある他自治体や、需要と供給が合致する他自治体など双方にとって有益となる交流機会の創出を検討します。
H30年度進捗状況 ヒアリング	引き続き、検討。

ヒアリング	渡嘉敷村 総務課 課長:金城 満 様
R2年度進捗状況 ヒアリング	他の自治体との交流が難しく、座間味村以外とは進んでいない。
具体的な進捗状況の ヒアリング結果等	座間味村とは観光振興・環境関連・エコツーリズム、慶良間諸島満喫PJ等を通して交流を行っている。内容は観光環境が主体。他の自治体とは座間味村と同じ密度では実施できていない。具体的なテーマが設定されていないと難しい。観光客を誘客するにはどうするのか、などの視点から進めていくのがいいのではないかと考えている。
提言	共通点がある自治体、需要と供給が合致する自治体との交流を進めるにあたり、渡嘉敷村の「どの特徴」についての共通点がある自治体と交流するか、需要と供給が合致するとは誘客の視点において「何の需要と供給か」を明確に設定することが必要と考える。その上で、その条件に合致する自治体に対し渡嘉敷村側からアプローチしていくことを推奨。また現状の座間味村との連携内容や、進捗やゴールなどを整理し、明文化するとよいと考える。